

。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 2. 7

下水道機構の『新技術情報』 第270号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。

読者の皆さんの中にも参加された方がいらっしゃるかと思いますが、2/4(土)に下水道職員健康駅伝が開催されました。今回は過去最多の453チームが参加されたそうで、当機構からも6チームがエントリーしました。さて結果はいかに？詳しくは来週のゆいまーるでお伝えします♪お楽しみに～

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第270号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・1/27(金)に下水処理場における総合バイオマス利活用検討委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、2/9(木)に技術サロンを、2/10(金)に新技術設計手法等共同研究委員会を開催します

■Tea Break

- ・日記 (研究第二部 ペンネーム三日坊主さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回のゆいまーるは、お休みしますm()m 来週お会いしましょう(^_-)-☆

■国からの情報

- ・2/2 付下水道ハピネス学園通信(第3号)
- ・2/3 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。

- 1/27(金)に下水処理場における総合バイオマス利活用検討委員会を開催しました
同委員会は、大学、地方自治体、土木研究所、日本下水道事業団からの委員参画の

もと、国交省下水道部、日本水工設計株式会社、下水道機構が事務局となり、日本大学生産工学部土木工学科の森田教授の議事進行により行われました。

会議では、モデル都市の下水処理場での地域バイオマス利活用に関する実現可能性（FS）の中間報告、地域バイオマスを下水処理場で集約し、利活用するためのマニュアル案の報告とその審議が行われ、活発なご意見をいただきました。

会議でいただいた様々な意見を反映させ、今年度内に地域バイオマスの利活用事業促進に向けたマニュアルとしてとりまとめます。

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第 356 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 2 月 9 日（木） 17:00～18:00

ゲスト：東京都下水道局 計画調整部 技術開発課 課長代理 堀口陽子 氏

テーマ：「現場硬化型管きょ更生工法(CIPP)の品質管理について～ドイツ・アメリカの事例報告～」

※お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●行 事：平成 28 年度第 3 回新技術設計手法等共同研究委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

日 時：平成 29 年 2 月 10 日（金） 13:00～15:00

案 件：下水処理場等における電気設備の健全度診断・改築計画に関する共同研究

○行 事：平成 28 年度第 3 回流出解析モデル利活用に関する共同研究委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

日 時：平成 29 年 2 月 15 日（水） 10:00～12:00

案 件：流出解析モデル利活用に関する共同研究

○行 事：平成 28 年度第 2 回調査検討支援委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

日 時：平成 29 年 2 月 16 日（木） 10:00～12:00

案 件：助言対象案件の概要と進捗状況の報告等

○行 事：第 65 回 新技術現場研修会

場 所：品川シーズンテラス（東京都港区港南 1-2-70）

日 時：平成 29 年 2 月 17 日（金） 14:30～17:00 受付 14:00～

集合場所・時間：東京都芝浦水再生センター（東京都港区港南 1-2-28）

14:20 集合

解散場所・時間：品川シーズンテラス 17:00 解散

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

★下水道ハピネス学園通信（第3号）

お待たせしました。下水道ハピネス学園通信の第3号です。今回の個人的な見所は
下水道1割バンザイと駅伝の出走表です。以下、生徒会長からの一言です。

ご挨拶遅ればせながら、新年おめでとうございます。昨年9月に始めたハピネス学
園、今年度の下水道部のテーマである「発信」を進めるべく手探り状態で始めたところ
ですが、みなさまのあたたかいご支援やご協力を賜り、今回第3号を発信すること
となりました。今後も読み応えがあり、多くの人に手にとってもらえるよう、各担当
者の自由な表現のもと様々な工夫や努力をしてまいりますので、今年もどうぞよろし
くお願いいたします。

第3号の掲載テーマは以下のとおりです。

：学園長新年挨拶

1 時間目：平成29年度予算の概要

2 時間目：財産処分について

3 時間目：JS代行について

4 時間目：広報について？

スペシャルコンテンツ：下水道駅伝エントリー表

また、今週末2月4日（土）には、第32回下水道職員健康駅伝大会が開催されます。
そこで今回はスペシャルコンテンツとして、国土交通省下水道部職員の駅伝出走者
をご用意させていただきました。出走者の顔写真や意外な一面(?)も多数紹介しておりま
すので、当日会場にご持参いただき、お気づきの際には温かいご声援等いただければ
嬉しいです。

それでは、下水道ハピネス学園広報誌「Happiness」の第3号をお楽しみください。
ちなみに本資料は両面印刷右端2点綴じが一番読みやすい形になります。

生徒会長 武田 正太郎

=====
下水道ホットインフォメーション（2017.2.3付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====
下水道駅伝が横浜の日産スタジアムでいよいよ明日開催されます。本大会は過去最

大の 453 チームの参加が予定され、昨年よりチーム数が大幅に増加したということです。昨日のハピネス通信をご覧になられて、下水道部から 7 チームも出るのかと驚愕の声を頂いております。これもおそらく過去最大です。ただ、井上流域管理官が昨日からインフルエンザで休みに入られるなど、若干不安な面も生じてきています。参加される皆様におかれては、「下水道関係職員の親睦を深め、健康増進を図る」という趣旨に乗っ取り、安全に走りましょう。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 第 8 回「下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会」の開催（下水道企画課）
- 「下水道事業における PPP/PFI 手法選択のためのガイドライン（案）」の公表（下水道企画課）
- 土木研究所 iMaRRC ニュースレター（土木研究所先端材料資源研究センター）
- 低炭素杯 2017【2/16 開催】のファイナリストに佐賀市が選ばれました！（佐賀市）

=====

○第 8 回「下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会」の開催（下水道企画課）

国土交通省では、施設の老朽化や技術職員減少による執行体制の脆弱化が進む中、下水道の機能・サービスの水準を持続的に確保するため、コンセッション方式等の PPP/PFI 手法の導入に向けた好事例の地方公共団体間の横展開を図ることを目的に、平成 27 年 10 月に「下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会」を設置しました。このたび、1 月 31 日（火）14 時～PwC アドバイザリー（事務局）の会議室において、第 8 回会議を開催しましたので、お知らせします。

検討会では、平成 29 年度のコンセッション等に関する予算や同日公表された優先的検討規程策定のためのガイドラインや社会社会資本整備総合交付金の要件化について、国土交通省より説明を行いました。

また、検討会に新たに参画した熊本市・宇都宮市から各都市の下水道事業の概要と課題について、PFI 推進機構からは機構の取組や下水道分野での案件形成のための課題やその対応方法について発表をしていただきました。

また、後半では汚泥の有効利用事業に取り組んでいる大阪市、黒部市、佐野市に PFI 事業を取り組まれた経緯や事業内容やモニタリング等について現状報告があり、意見交換が行われました。

今回から、熊本市が新たに委員に加わっていただいています。

本検討会は、今後も 2 ヶ月に 1 回程度開催する予定です。参加ご希望の自治体におかれては、国土交通省下水道企画課までお問い合わせください。

検討会資料について（第 1 回～第 7 回）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000382.html

※検討会メンバー：いわき市、宇都宮市、宇部市、大阪狭山市、大阪市、かほく市、

香美市、河内長野市、熊本市*、高知市、黒部市、小松市、佐野市、塩尻市、須崎市、田原市、多摩市、富山市、奈良市、浜松市、富士市、三浦市、柏市、山元町、秋田県、埼玉県、滋賀県（24市町・3県）

オブザーバ：宮城県、横浜市、日本下水道事業団、日本下水道協会、PFI推進機構
（*は、今回から新たに参加した自治体等）

○「下水道事業における PPP/PFI 手法選択のためのガイドライン（案）」の公表（下水道企画課）

下水道事業における PPP/PFI については、「経済財政運営と改革の基本方針 2016（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）」や「日本再興戦略 2016（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）」等において、地域の実情に応じて、多様な PPP/PFI 手法を積極的に導入することとされています。また内閣府・総務省は、『『多様な PPP/PFI 手法導入を優先的に検討するための指針』について（要請）」（府政経シ第 886 号・総行地第 154 号、平成 27 年 12 月 17 日、参考資料 1）において、人口 20 万人以上の地方公共団体等に対し、一定規模以上で民間の資金・ノウハウの活用が効率的・効果的な事業について、多様な PPP/PFI 手法の導入が適切かどうか優先的に検討する手続及び基準等（以下、「優先的検討規程」）を平成 28 年度末までに定めるよう要請しています。

そこで、国土交通省では、地方公共団体が下水道事業における PPP/PFI 手法を適切に選択するとともに、優先的検討規程を策定する際に参考となる「下水道事業における PPP/PFI 手法選択のためのガイドライン（案）」を作成しましたのでお知らせします。

本ガイドラインは下記国土交通省のHPにて掲載しております。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000466.html

○土木研究所 iMaRRC ニュースレター（土木研究所先端材料資源研究センター）

土木研究所の先端材料資源研究センター（iMaRRC）では、平成 27 年 4 月のセンター設立以降、iMaRRC として、定期的にニュースレターを発行しております。

土研のホームページ

http://www.pwri.go.jp/team/imarrc/newsletter/imarrcnewsletter_vol7.pdf

に掲載されておりますので、ご参考まで、ご紹介させていただきます。

なお、今般、発行した第 7 号の内容は、

- ・センター長挨拶
- ・土木の日一般公開の報告
- ・第 1 回 iMaRRC 講演会の報告
- ・海外出張報告（第 9 回日韓建設技術ワークショップ、ISO/TC275（汚泥の回収、再生利用、処理及び廃棄）総会）

となっております。

○低炭素杯 2017【2/16 開催】のファイナリストに佐賀市が選ばれました！（佐賀市）

多様な主体が取り組む地球温暖化防止に関する活動について、その取組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出する場として、環境大臣賞や文部科学大臣賞などの各賞を競う「低炭素杯」が例年開催されています。

今年も2/16(木)に開催され、ファイナリストとして佐賀市上下水道局下水プロジェクト推進部の『昔に帰る未来型～佐賀市下水浄化センターを「宝を生む施設」に～』が選ばれています。

開催案内など詳細は以下のホームページをご覧ください。

<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>

【参考情報】

◆浜松市、水道事業も民営検討 「上下」実現なら全国初〈2/2 静岡新聞〉

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170202-00000003-at_s-l22

<http://www.at-s.com/news/article/politics/shizuoka/324923.html>

◆バイオガス利活用施設稼働〈2/2 東海日日新聞〉

<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=58266>

◆兵庫・明石で相次ぐ地下空洞化の怪！ 迅速改修もたらしたある「悲劇の教訓」〈2/2 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/170202/wst1702020003-n1.html>

◆黒石 特定環境保全下水道「廃止を」答申〈1/30 東奥日報〉

http://www.toonippo.co.jp/news_too/nto2017/20170130022009.asp

◆「暗い」「汚い」今は昔 進化する公衆トイレ〈1/30 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/life/travel/tnews/20170125-0YT8T50102.html>

◆高田東中 再建の校舎…被災3校が統合、竣工式〈1/30 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/iwate/news/20170129-0YTNT50040.html>

◆コバトン、下水道を冒険 3高校の生徒、下水道の仕組み学ぶ冊子作成〈1/29 埼玉新聞〉

<http://www.saitama-np.co.jp/news/2017/01/29/10.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20161031/>
